

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

議会広報広聴委員会記録

平成30年9月6日(木)

16:40～18:20

議会 第1委員会室

- 【出席者】 小川委員長、川上副委員長、
三浦委員、沖田委員、西川委員、村武委員、笹田委員、芦谷委員、
田畑委員、澁谷委員
- 【事務局】 篠原次長、近重書記

議題

1 はまだ議会だよりVol.51の発行について…………… 資料1

(1) 議会広報研修会（8月20日（月））報告について

(2) 掲載内容及び発行スケジュールについて

(3) レイアウトについて

2 地域井戸端会の運営方法について

(1) 運営方法について

(2) 開催までのスケジュールについて

3 その他

次回会議 開催予定日：平成30年9月13日（木） 議会運営委員会終了後 第1委員会室

[16時 20分 開議]

小川委員長 ただいまから広報広聴委員会を開催します。本日の議題は大きく2点ありますので、順次行ってまいりたいと思います。

1. はまだ議会だよりVol.51の発行について

(1) 議会広報研修会(8月20日(月))報告について

小川委員長 最初に先般8月20日の編集会での報告について、近重書記からお願いします。

近重書記 (以下、資料をもとに説明)

小川委員長 ありがとうございました。近重書記の他にも参加された方がおられますが、気が付いた点や51号編集にあたって盛り込んだ方が良いアイデア等がありましたらお願いします。

澁谷委員 近重書記が説明した下から5行目ですが、4ページから5の条例名を羅列するのではなくの所ですが、言われてももっともだと思ったのは、「条例の一部を改正する条例について」と今まで全部書いていましたが、委員長が委員会報告の中に書いたとしても市民には分からない。それを簡略的に分かるように書いてくれというのが、非常に印象に残ったのと、質問の末尾の「問う」「伺う」という表現を無くすとなると、二段しかないので「？」マークを使っても良いのではないかという印象を持ちました。

小川委員長 ありがとうございました。

川上委員 私ども浜田市の広報については、堅苦しく思われています。もう少し魅力感のあるものにしたら良いのではという感じが、どうもあったみたいです。

澁谷委員 他の広報は結構、一人1ページ使ったりするケースが多くて。それに比べて浜田市の2段というのはすごく小さく見えるというか。要するに浜田は質問者がすごく多いのですよね。他の所は十数名でページもめいっぱい取ってある感じ。一般質問のウエイトがかなり多いので他の記事にも市民の写真が少ないのが、他議会と比べると特徴的な印象がありました。

芦谷委員 広報委員会の前のケースでは、編集細目というのを作りました。今日のこれも大変立派にまとめてあるので、この中で浜田が採用する分については、一応きちんと決めごとで残しておいた方が。出来ればこの中で大事な部分については、編集細目に織り込んで代々受け継ぐのが良いと思うのですが。一応提案しておきます。

小川委員長 近重さん、新たに委員になられた方にも、その細目は渡っているのです

か。どうですか、編集細目というのを貰ったことありますか。

村武委員 最初に貰った気がします。

小川委員長 そうですか。折角盛り込もうと皆の総意で決まったことについて、それに入れていく方向で検討した方が良いと思いますけど、その作業を今日やるというのは難しいとは思いますが。

近重書記 流れの確認となると、訂正したものを皆さんにお諮りして、決まったら載せるという形ですか。

小川委員長 そうですね。

近重書記 分かりました。また委員会、調査会で出すようにします。

小川委員長 全体的な助言だとか、色々指摘された部分などもありますし、先ほどご意見が出された部分もありますので、「？」マークを使うようにしても良いじゃないかとも言われていますし、そういう点についても検討して、今回の研修会を受けて編集細目に加える所等があれば、やっていく方向で検討したいと思います。芦谷さんのご意見も大事なことだと思います。よろしくをお願いします。

他に、参加された方からの意見、あるいは参加された方に聞いてみたいこと等がありましたら。近重さんが先ほど言われた分含めて、今回は意識しながら編集作業をしていくということで。

QRコード等を付けると、名前や見出しが少し小さくなる可能性もあるのですよね。ある程度の大きさを確保するとすると、2段しかない中で20文字の見出しと名前と写真、それにQRコードも付けると、またQRコードを読むとすぐ一般質問の動画が始まるらしくて。そういう意味ではすごく便利だとは思ったのですが。

澁谷委員 QRコードは付けなければいけないような時代になったんだ。

近重書記 その件については3番目に一応取り上げる予定で……。

小川委員長 分かりました。ではそういうことで、また何か気が付いた所があれば言っていたきたいと思います。

(2) 掲載内容及び発行スケジュールについて

(3) レイアウトについて

小川委員長 51号の発行に向けてスケジュールと言いますか、担当も含めて案を練ってもらっていますので、近重さんからお願いします。

近重書記 (以下、資料をもとに説明)

小川委員長 提案がありましたが、そういう原稿締切等のスケジュールとページレイアウトの関係です。福祉環境委員会の付託が無いということで、その委員報告が無くなることになりましたが、その辺の中身をお知らせするため

の文章をひとつ入れることにはなりません。このように空いている所には、いくらかページを埋めるために特別委員会の視察の報告を入れてもらうとか、あるいはバックナンバー等のお知らせも入れながら、何とか16ページの中身を埋めていくという形で案を作っていただいています。こういう中身と、特に11月1日付ということなので、9月の決算認定が終わってからすごく短い期間でやり上げないとならなくて、かなり締切も窮屈になっていますが、この日程で流れれば何とか11月1日発行に向けての体制が出来るのではないかと思います。皆さんご意見等がありましたらお出しいただきたいと思います。

澁谷委員 もうこれ完璧なので、これでいきましょう。

小川委員長 これでよろしいでしょうか。

澁谷委員 今回みたいに9月議会に6月が出るようでは非常にまずいので。これに併せるように近重君に組んでいただいたので、完璧だと思います。あとは締切が出るかどうか。

近重書記 かなりタイトです。

小川委員長 各委員長報告や特別委員会の委員長には、僕から言えば良いですね。皆さんにお願いして確認していただければ。

澁谷委員長 それと委員長にお願いがあるのですが、今まで校正をする時に議員の原稿の修正も多かったりするのですが、原稿を出される委員長さんの原稿手直しも非常に多いので、13日に議運をするのですが、その時に委員長からその辺のことをきちんと伝えてもらえば良いなど。直すのも時間がかかるので。

小川委員長 今月の13日ですか、そうですか。

澁谷委員長 ええ、その時に言っておいてもらえば良いなど。今回も一般質問の原稿も、簡潔に質問してくださいと要請があつてお願いしたのだけど、守れてないので。繰り返し言わないとなかなか良いことにならないと思います。議運の最初の時間を委員長に提供しますので。

小川委員長 ありがとうございます。ではそのようにさせていただきます。笹田委員。

笹田委員 うちの委員会も、道路の廃止と認定しかないですよ。

小川委員長 それだけ。

笹田委員 それだけです。だから書きようがないというか。一応見に行こうと思えますけど。

小川委員長 それを記事にするのもキツイですね。

笹田委員 内容が、無いような。とりあえず現場を視察して、可決しましょうという流れになるとは思います。

小川委員長
 笹田委員
 芦谷委員

そうすると3、4ページが。
 1段も難しいですよ。5行くらいで終わる。
 付託案件が無ければ載せてはいけない、という決まりはなかったかな。
 (「それはなかっただろう」という声あり)

澁谷委員
 芦谷委員

何を書くか委員長も困ろうし。
 だから、場合によっては付託案件を中心にしながらも、無い場合には他の形で、委員会の紹介くらいをしても良いようにすればどうかと思うのだが。

小川委員長
 澁谷委員
 芦谷委員
 笹田委員

所管事務調査の内容を紹介するとか。
 委員長にきちんとその原稿を書いて貰えば良いけどね。
 付託案件がないといっても常任委員会だから。
 そういうことをすれば、では何を載せて何を載せないかという話になって……だから決めるなら約束事を決めて、所管事務調査を載せるのか議案を載せるのか、あとは所管事務調査の後に議案説明があります。

澁谷委員

無理して原稿を書く必要は無いから。だったら議案質疑で出た質問を載せるとかにした方が良くもしいし。原稿はコンパクトにした方が内容が濃くなるのだから、広げるほど間延びする感じになる。

小川委員長

さっきの新宿区の報告にあったように、これで見られる市民の皆さんが多いので。

川上委員
 小川委員長
 澁谷委員
 小川委員長

気になることだけ一つ載っていて、あとは見てくれで構わないわけで。確かに議案質疑は沢山出ています。今まであまり載せてなかったですね。
 今回無いかもしれないけど、誰か手を挙げるかもしれないし。
 今までもあったけど、そういうのはあまり載せてないですよ。紙面の都合もあったりして。

澁谷委員

他の議会の議会だよりを見ていると、結構議案質疑載っています。うち是一般質問だけみたいな感じになっている。

小川委員長

確かにその報告だけになってしまうと、それこそ定例会報告になりかねないということで。その辺を考えた方が良いという指摘もあったもので。

近重書記

研修では、H A C C Pとか、議会側から見ての説明にはなりますが、そういうのを特集でとはありますけど、このページにそれが入るとどうなるかはちょっと……。

澁谷委員
 笹田委員
 小川委員長
 澁谷委員

総務も一杯あるのですか。
 総務も3つくらいしか無い。
 でも予算決算委員会で1ページ使うというのもあれかなと。
 決算認定は別に取ってあるのかな。

小川委員長
澁谷委員
小川委員長
笹田委員
小川委員長
芦谷委員
川上委員
澁谷委員
近重書記
小川委員長
笹田委員
近重書記
笹田委員
澁谷委員
近重書記

いえ、予算決算委員会の報告になります。

昨年の分の意見に対する答弁を載せたりとか。もしかしたら有利に使えるかも。今回は決算認定がメインだからね。

そうですね、それをボリュームを出すような形でやれば良いかもしれないですね。

福祉がまずゼロになっているでしょう。だったら福祉も何かしなければいけなくなるでしょう。議案はありませんでしたが、みたいな。

所管事務調査や報告事項に対する質疑の中で、議論になった所は載せた方が良いということなら、そういう内容で原稿を作ろうと思えば作れないことないと思いますが。

市民の人がどう思うかだから、この委員会何をしたかというのは知ってもらった方が。無かったから無い、というよりも、所管事務調査等を含めて知ってもらいたい部分があれば載せた方が、広報とすれば良いという気がするのだが。

ですが、わざわざ無いものを広げてやるよりも、今回は予算決算がメインだから、メインをやるだけでも構わないと思うのだが。気になること一杯あるのだから。どこかに書いてあったな。1つのはなしをふくらませて。

その場合、委員長の記事内容や書き方によるよね。

(以下、自由討議)

3ページが3常任委員会で、4ページが予算決算。

という形でちょっと考えてみるので、そのように各委員長さんにもお願いしてみようと思います。チラシを各テーブルに置く時もそういうことで、よろしくお願いします。

タブレットの使用の記事は後にまわすの。

今度の2月になります。

だったら一般質問まではこの間みたいに、ちゃんとやった方が良くと思う。タブレットがもしあれなら反対側にして、だったらここに討論載せた方が良くだろうし。賛否両論詰めてやった方が。あとは一般質問からは違う記事になるから。

タブレット導入などは15ページに、特別委員会の報告が、委員長がしっかり書いてくれたものをコンパクトにしてスペース開けて囲み記事を入れたりとか、いくらでも出来る。

すみません、個人一般質問の割り付けの話も出たのですが、これはまだざっくりした案ですので、掲載することになると、当然お名前が左に寄って載せるか、詰めて下に載せるかの形になると思います。他市の例だと、

顔写真が無くてQRコードと名前だけという所もあったのですが、折角写真があるので。これも業者さんと打合せしながら作ってみようと思います。今の大きさを委員長のスマホでは読み込めました。

(以下、各位QRコードの読み込みを試す)

予定はそういう形にします。あと、すみませんが前号の広報に誤りがあったということで。15ページの17日の会場が、国府公民館を浜田公民館と書いてありました。最終校正で確認が漏れていましたので、12月号の最終ページにお詫びを載せます。

小川委員長

それも責任を取って何とかしないとイケないと思うのだけど、再発防止というか、今まで2回やっていたものを1回にしたのだけど、そのためにやっていたのならちょっとまずかったかなという気持ちも、しないでもないのだけど。

澁谷委員

そのくらい許容範囲だ。今から開催する会場を間違えたらイケないけど、開催報告の中だから。

(以下、自由討議)

小川委員長

では議会だよりはそういう形で進めていこうと思います。

2. 地域井戸端会の運営方法について

(1) 運営方法について

(2) 開催までのスケジュールについて

小川委員長

色々ご意見もありましたが、三浦委員さんに企画案を練っていただいたものがあります。非常に大事な中身だと思いますので、ご提案をお願いして皆さんで検討していただきたいと思います。三浦委員よろしく願います。

三浦委員

(以下、資料をもとに説明)

小川委員長

今までの井戸端会の雰囲気や180度転換するような内容で。今回出来る部分とそうでない部分がありますし、長期的な視点に立って今後改善すべき点のご提案もあったと思います。このたびは前回春に行ったメンバー構成と日程・場所についてはこういう形を前提としています。

いまご提案いただいた中から、どこをどのように盛り込みながら流れを作っていくか、今から短い期間にその作業もしていかなければならないと思います。出口も含めて議員間討議等も含めてですけど、今回春にやった議会報告会に対して、1ヶ所ご意見が出ています。「自分が言った意見が議会だよりに載ってなかったのは何故か」というもので、事務局に対応していただいたのですが。結局そういう意見が出たのは「それは後日議会だ

よりに載るから、それで見てください」とどなたかが言われたらしく、議会だよりを見たのに自分の言った事が全く載ってなかったというお叱りの電話だったそうです。説明する時も、紙面の都合で全てが載るわけではありませんし、議会だよりに載るまでにも、執行部に投げかける質問をどれにするかという精査も正副委員長で精査しましたし、そういう意味では出されたご意見全てが……井戸端会がそうだと思いますが、全てが載るとは限らないということも踏まえて、参加者にはお知らせしておく必要があるのではと感じました。

これまでの流れでご質問等があれば出していただきたいと思いますし、ご意見等も。次10月に行うのを前提で、意見交換が出来ればと思います。どなたからでも結構です。澁谷委員。

澁谷委員

三浦さんのご提案をある程度形にしようと思うと、結構長期的に……この委員会のメンバーがトレーニングしないと出来ないのかなと。来年1、2、3、4月ずっとやりながら、5月に理想とする形が実現出来るようなペースで準備しないといけない。委員長が言われたように10月という期日が決まっているので、この中で提案内容がどこまで取り入れてやっていけるか。うちのメンバーが分かっても、他の班長さんに説明しないといけないでしょう。そのためには前もって説明しなければいけない。それをまた班員で話し合ってもらわないといけない。そうすると割とタイト。なので今回どこまで取り入れられているかを決めていかないといけないのではという気がします。

小川委員長

川上委員。

川上委員

確実に出来そうだというイメージはあるのですが。あと前あったカード使うというのは今後のことかと。イメージとファシリテーターの問題だけ。出来そうな気がします。各班に任せている時に、その班にファシリテーターが出来そうな人が少ない場合もあるので。どことは言わないけど。そういうのは少し考えておかないといけないと思います。それから少しでも出来れば若干でも変わるのかなと。

小川委員長

笹田委員。

笹田委員

自己紹介はすぐにでも出来ると思います。例えばプロフィール等を書いてもらって、議会のホームページにアップしておけば。写真もすぐに撮れると思うし。それをお願いしてみるというのは……1ヶ月でどこまで出来るか分かりませんが、自分の履歴はすぐ書けるのではないかと。カードを使ったりするのは時間がかかるとは思いますが、将来的には面白いかなと思うし、結局目的が大事なので、そこを導き出せるような内容になれば良い

と思います。ただ、あと1ヶ月くらいになるとファシリテーションの話にありましたが、以前講習を受けた方もおられます。小川さん受けましたか。受けたけどなかなか身につかなかった。

小川委員長
笹田委員

このように勉強しているのですが、数が少ないので上手いこと回らない場合もあるのかなと、実際見ていて思います。それは数をこなすしかないかなとは思いますが。

川上委員

この井戸端会にはどんな専門的な議員が来ているかというのが、分かるだけでも違うと思います。確かにプロフィールというのも必要と思う。

笹田委員
澁谷委員
近重書記

この、趣味、尊敬する人、好きな言葉、長所短所だけでも良い。

このチラシは結構すぐ使えるのじゃない。

これはご提案をいただく前にこちらが作ったものです。A3版とA4版みたいなものは刷ってみて、例えばこの裏面に顔写真とプロフィール、小さくはなると思いますが。キャッチコピーや中のリードは、まだ内容が…今日決まるので、これはざくっと作ったので。本当はペケや丸だけにしておきたかったですけど。結局三浦委員からいただいた案をどこまで入れるかということで、市の広報に載せるリード文も若干変化が出てくる可能性があるのです。実は締切が今日になるので、もしここである程度の形になれば、ここが若干変化するのかなという所で、ちょっとまだ校正をしていません。例えば今のカフェ方式を入れて討論するという話になるし、持ち帰って議員間討議をしますという話になれば、意見交換というざくっとしたイメージにはなるかもしれませんが、そこもあるのを付けています。10月1日の広報でこれが載るので、今の話を受けて、この表現では弱い折角の売りが載ってないということもあるので、付けているということです。なのでこのチラシと広報は本当にたたき台というか。今日の動向によって変化する所があります。

澁谷委員

チラシとイメージについては三浦さんと相談してやってもらうしかなかろう。ここまで提案されるとなかなか素人が言いにくい。締切があるのなら。

小川委員長

前のリード文ということでしょう。今日提案してもらったところでいくら盛り込んだら、それを書き換えた方が良いということね。

近重書記

文字数を増やしたり段を増やすのはちょっと大変なので、与えられたスペースの中で。

(以下、自由討議)

小川委員長

条例提案を検討するために行いますとかあってもいいかもしれない。けど合意形成が難しいかもしれない。

近重書記
川上委員
これは仮ですから。
議員の仕事は違いますから。皆さんの意見をもって執行部をチェックすることだから。

笹田委員
近重書記
これ広報はまだでしょう。
はい、議会だよりにはもう載っていますので。

小川委員長
変えた方がよい所、表現を変えた方がすっきりするとか、分かりやすいとか、優しい表現になるとかあれば。

三浦委員
議会事務局の電話番号だけではなく、詳しくは議会のホームページをご覧くださいとか。

澁谷委員
三浦委員
QRコード載せたり。
そういうふうにして、ここはシンプルで良いのではないですかね。開催を告知するイメージだと思います。

芦谷委員
「地域の課題について」と書いてあるよね。課題と、市民の思いとか意見とか。地域の課題と言えば、普通の人には来にくい感じがしやしないかな。それとか若い者とか。

澁谷委員
今の「思い」というのが良いんじゃない。好きなことを言いたい人もいるし。今の段階ではまだテーマを絞ってないのだから。

芦谷委員
若い人なんかだね。地域の課題と言ったら気後れするかなと。
どう変えたら良いですか。
まあ前後別として、皆さんのご意見や要望や地域の課題だな。
意見を伺いますね。

（ 以下、自由討議 ）

村武委員
前回の報告会の時に感じたのですが、意見交換会って……今回もそうなのですが、交換というのは市民の人たちの意見に対して私たち議員が意見を交換するのですか。というのが、議員個人個人で意見や考え方が違うではないですか。そうすると、例えば私の思いを言って良いわけですか。私たちの時にはそういうことが無かったのです。結構市民の方の意見を聞く側だったのです。それを今度議会で反映しましょう、みたいな感じだったのですが、他の所を見ると皆さんそれぞれ、個人的な思いを言われてたりとかされたのですけど。

澁谷委員
村武委員
田畑委員
澁谷委員
村武委員
思いというより、質問には答えるけど、思いについては……。
いや、結構思いもあったように思いましたけど。
交換してもこっちは執行権が無いのだから。
その時ファシリテーターが上手にセーブしなかったのではないの。
私たちの所はすごく良かったのですけど。

澁谷委員 どういうことそれ。

笹田委員 議会としてやっているから言えないでしょう、ということでしょう。

村武委員 そうそう。

笹田委員 議会としては個人的な意見を言わずに聞くだけなのか、意見の交換というのほどこまでを指すのかですよね。

村武委員 すみません上手く言えなくて。その目的と、これをやってどうするのかというところがもう一つ分からないと……。

澁谷委員 それを今、三浦さんが問題提起して、問題があるからこうしましょうという提案に行きつくのだけど。

村武委員 だからその所は決めておいた方が。例えば討論会をしますとか、そこが分からないから市民の方もなかなか来られないのかなと思うのですが。川上委員のようにすごく関心がある方は来られるかもしれないけど、私が議員になる前は、何する所か分からないから行かないわ、みたいな感じだったんだと思います。行って何が出来て、それがどうなるかが分かれば、来られるのかなとは思いますが、違うかな。

西川委員 写真とプロフィールを載せるなら、議員それぞれの意見を聞くような感じに皆思ってくるかもしれないし、それならそれで、全員載せるなら。

笹田委員 意見を伺います、で良いのでは。交換ではなくて、伺いますで。

小川委員長 今までファシリテーターの研修会等でもそういう感じだったもんね。皆さんが意見を出しやすい雰囲気を作るのがファシリテーターという感じだった。今までの流れでも、あまり個人的な見解を言うのはいかがなものかという議論があったもので。

澁谷委員 その人の議員としての器量もあるから。それを勝手に言ってもらったら困るという人を班長はセーブしないといけない。

田畑委員 あまり自分の意見を言い出すと、井戸端会の意見交換から外れるから。自分の主義主張をやり出したら、自分の選挙活動みたいなものになる。

澁谷委員 森谷さんが撮ったビデオを見させてもらおうと、他の班で「これはまずかろう」というのは核心が出たりするから、そこまで交換をどんどんして良いかどうかは、まだトレーニング不足だと思う。

田畑委員 意見を聞いて、その意見を持って次の一般質問で返してあげるとか、何かやらないと、あれだけやっても一般質問で出している例はほとんど無いよな。

三浦委員 提案した「討議」というのは、なかなか出来ませんか。例えばテーマをいくつか決めて、議員それぞれが多分20数人は難しいので、それぞれテーマを希望してそれについて、ここではこんな議員間討議をしました、み

たいなものが最後のゴールになると、井戸端会の際には議員がいくらそこで個人の意見を言ったとしても、それは一緒に考えている場なので、議員は議員の考えを言っても良いとは思いますが。ただこれは持ち帰って、全部は出来ないかもしれないけど、また議員皆で話すからと言っておけば、議員もそこで自分の考えを言えるのではないかと思います。

澁谷委員

それを持ち帰った後、広報広聴委員会が仕切って、この問題に取り組めば、敢えて班長さんに報告をお願いしますという形に持っていければそういう形にはなるかと思うけど。

笹田委員

言っても良いことと悪いことがあると思う。個人的見解を述べて良いのは内容によると思う。例えばお魚センターの話をしていただく時に、俺は買うべきだ、私は買うべきじゃないという話になるのは、あまりよろしくないかなと思ったりします。今、議会としてはこういう意見で、委員会ではこうしている、ということしか中身については言えません。だから、物によると思います。

村武委員

その「物」とはどういう……。

笹田委員

弥栄だったら「潰してしまえば良い」と言ったら問題になるから、それは議会としてこういう動きをしているのは良くないけど、例えば個人的なことを聞かれた時には、こう答えても良いかなと思いますが。

三浦委員

それどの立場でやるかですね。ファシリテーションだったら、自分の考えを言うとファシリテーターではないので。皆さんから意見を引き出して進行役をするなどして仕切らないと。だんだん気持ちが入ってくると皆やっぱりしゃべりたくなるから。

笹田委員

この間やっていたのは地域の子ども対策についてしゃべってもらったのだけど、作り方が違う。でも議員にはしゃべらせなかった。

三浦委員

それはどちらかと言うと聞く側だから。

澁谷委員

浜田市議会の広報広聴のこの分も、ファシリテートという言葉を使って研修や見学に行った以上は、聞く事がメインだったはず。それがいつの間にか「意見交換会」というタイトルが付いたりして見えにくくなっているけど、とにかく意見を引き出すのが仕事だという感じだった。どうにか割り振って、一人の人に時間を取らせないよう、皆さんの意見を聞くのがファシリテーターの仕事みたいな感じのトレーニング。

村武委員

そうなる意見交換の「交換」というのがちょっと何かね。市民の人たちの意見交換会。

澁谷委員

あとは若い議員さんの方が主動してどんどんやってもらった方が良くないかな。

村武委員 若いとか、そういう年代の問題ではないと思うけど。

澁谷委員 期数の若い人の方が鮮度が高いから良いかなと。おっさん連中の今までの凝り固まった捌き方よりもね。

村武委員 経験のある方でも捌きが上手な方もおられると思うし。どんなものなのかというのと、それをどうするのかを決めてもらえば良いと思うのです。それがないと、チームによって……。

澁谷委員 班長によって全然考え方が違ったりするよね。それをきちんと定義付けるのは、難しいのは難しい感じの所はあるよね。役割はどういう分担にするかとか。

笹田委員 もうプロフィールは、渡す時に作って皆に書いて貰って。明日でも良いから。

小川委員長 何故これを書かないといけないのか、から始まるから。

澁谷委員 議案質疑が終わった後に本会議場で説明すれば良い。

田畑委員 本会議の後に全協室で予算をやるだろう。あの時でも良いわ。

澁谷委員 どういう意図かも言わないと。

笹田委員 それを委員長に言ってもらって。

近重書記 終わった時に例えば皆さんにメールで回答用紙を送って、返信してもらような形でも全然良いのですが。写真は選挙後に撮ったものがありますので。

澁谷委員 選挙後の写真とこれは全然違うだろうね。

沖田委員 選挙後の写真を使うのやめませんか。

笹田委員 気に入った写真を自分で持ってきてもらえば良いんだ。それも個性だ。

近重書記 では顔写真のデータとプロフィールのデータを出してください、と。

三浦委員 例えばですが、好きな本でも良いし、好きな動物でも良いし、何でも良いのですが、とっかかりになるような。

川上委員 話のとっかかりになるような物ね。

三浦委員 そうです、まず話しかけるためのツールにするものです。

近重書記 「好きな〇〇」で、それくらいは個々で設定されて書かれるのもアリかもしれないですね。

笹田委員 それと、最後に班で討議してもらうのも良いかもしれないですね。その二つくらいではないですか今回出来るとしたら。

小川委員長 井戸端会が終わって、出された意見をどうするかということですか。春にやった分も、実際には出された意見を報告書で出してもらって、その中から執行部に回答を求めるのをどれにするかということのを、ここだけでやっても良いのだろうかというのがありましたから。

澁谷委員
笹田委員

それだけでもう終わってしまうのよ、あとはやってよ、みたいな。
課題が盛り上がった時には、どう返すかという話にもなるし。

(以下、自由討議)

川上委員
澁谷委員
笹田委員
小川委員長
三浦委員

このことに関しては持ち帰って、議員で討議をして、ということに。
それをどう発表するかだろ。
討議した内容も含めて返してもらおう。
その後どうするかを少し話をした方が良くと思う。

多分、広報でのページはもうそんなに割けないので、ホームページに書きますと。その一部はもちろん広報で紹介しながら、その他議員で議論した結果はこちらの議事録で確認してください、というようにホームページを上手く使う。

笹田委員

好きな言葉で良いじゃない、尊敬する人物と、皆同じことで良いじゃない。あと履歴と。

小川委員長
近重書記

これでいくなら、いきますか。
これで。議案質疑の後にご説明をして、流す。

(以下、自由討議)

小川委員長

その折角書いて貰ったのはどこに、どういう形で市民の皆さんにお知らせするの。

近重書記
笹田委員
近重書記

ホームページか……。
これくらい載らないかね。
裏にですか。透けなければ良いんですけど。ホームページには当然……
井戸端会の開催の所に載せても良いのかな、何か勿体ない気がしますけど。

笹田委員
近重書記

ホームページに一人一人の記事が載せられないの。
それは載せられると思います。例えば別添のファイル等を添付して確認できるようにする。

笹田委員

白黒なら別に写真は要らないから、名前だけで良いんじゃないの。オールカラーなら顔がないとだけど。

近重書記
笹田委員
近重書記
村武委員

顔があって裏に名前とプロフィールと。
これ、でも、貼る奴でしょう。
どちらでも。

柳楽班とか野藤班ていうのは、ここを見たら分かるじゃないですか。だったらここに、またいちいち皆さんの名前を入れないといけないの。ここがもう少しタイトになったら、ここに一言でも入れられるかなと。プロフィールもあまりたくさんではなくて、好きなものとかマイブームとか、何かそんな感じで良いんじゃないの今回は。

三浦委員 書いてもらっておいて、何項目かあるのは当日「今日はこのメンバーでお送りします」と配っておいて。ちょっと自己紹介。

笹田委員 二つあればそれを載せれば良いし、一つなら一つで良いし。

村武委員 今回は新しいことということで、そんなにたくさん載せなくても出来る所でやってみたら良いんじゃないかなと。

澁谷委員 なかなか決まらないから、何人かの人間で原案作ってやりなさいよ。

笹田委員 やってみれば良い。

村武委員 小さいのはなかなか難しいと思う。大きいのは出来るけど。

田畑委員 いまの提案があった分、この10月から出来るのはどれだと考えた時に、これが出来る、これが出来るというものは実施すれば良いし。

澁谷委員 今の感じから言うと、三浦さんと村武さんと笹田さんでまとめてからしなさいよ。その項目とか。他の議員も従えば良からう。

笹田委員 その発表は、委員長にしてもらえば良い。

澁谷委員 意図は説明してもらわないといけないから。

小川委員長 それを、参加される方にどうやって伝えるか。ホームページを見てくれということなのか、当日配るのか、チラシのどこかに盛り込むのか。

笹田委員 やってみようや。

近重書記 予定では9月の最終日の時に説明という流れを、当初の資料で出していますので、その時にデータとこれを印刷してレターケースに入れておこうかと。

笹田委員 やってみれば良いわ。裏使えるでしょう。

小川委員長 裏表で印刷しますか。

近重書記 裏に名前とプロフィールですね。

小川委員長 それか、この名前もここに書かなくて良いなら、ものすごく圧縮すれば3分の2くらい全部で24人の顔写真と……。

近重書記 どれだけ写真が鮮明になるかはちょっと怪しいですけど。

笹田委員 顔いるの。

澁谷委員 あとはファシリテーターについて班長に説明していくのを、どのようにしたものを今回お願いするかを決めておかないと。今はほとんどバラバラだよな。ファシリテーターの技量も全然違うし。

小川委員長 班長さんがどう進めれば良いのかと、多分言ってこられると思います。

澁谷委員 他の班を見たりすると、そうでしょうね。

三浦委員 何となく進め方のマニュアルまでいかないですが、説明資料みたいなものがあつた方が良いですか。それがあつた方が良ければ。

小川委員長 2年前にやった分のタイムスケジュールみたいなものが書いてありまし

たよね。だからそれを今日出すべきかどうか、というのはあったのだけど。折角三浦さんが定義なされたので、それを出したらどうかなというのがあったので。

三浦委員 良い部分は残したら良い。

川上委員 三浦委員が作ってみれば。

三浦委員 分かりました。

小川委員長 2年前のがあるのですよ、1時間半をどういう流れで、というのはあるのだけど。

三浦委員 それはファシリテートする人が、どういうことに気を付けた方が良いとか。

小川委員長 そこまでは無かったと……。

三浦委員 時間よりもそっちの方が大事だと思います。それで班長さんに、どのように進めたら良いかということ、時間割と併せて……。

小川委員長 ファシリテーターの研修が終わった後の分に、注意事項が書いたものがあったと思うんだよね。こういうことに注意して進めましょうと。

澁谷委員 今見ているとね、期数の多い人間にファシリテーターに全然不向きな人間が一杯居るのよ。それを若い人にやってもらおうと。班長の捌きなんだけど。

三浦委員 意見が出てくると、あれはどうなっているかなとか、その所はどうしてそうなったのかなとか、そういう話がどうしても出てくると、多少の説明は必要なので。

澁谷委員 では明日まず説明してもらって、あとは班長さんにはいつ説明するの。最終日だ。

澁谷委員 それまでにもう1回集まってやらないといけないじゃない。

小川委員長 集まれる日はあったのかな。

近重書記 議運の日の後はどうでしょうか。13日。皆さんが集まる日となると、13日の予算決算委員会の9月補正分がこの日にあるので、その後議運をされて、その後。

笹田委員 予算すぐ終わりますか。

澁谷委員 すぐは終わらないよ、2時間はかかるよ。補正だから。

笹田委員 議運は長いですか。

澁谷委員 議運は1時間もかからない。議運は審査だから、30分で終わるかもしれないし、そんなにかからない。多く見て1時間だね。若手の人と正副委員長が居れば。

小川委員長 今の段階では、班長さんにどうやって提起するかという所まで煮詰まっ

てないし。

澁谷委員 その辺のイメージをやりながら、やっていかないと。

小川委員長 班でファシリテーターもお決めになるだろうしね。

村武委員 班長さんは一緒に説明されたのでしたっけ。班長さんはとりあえず集まってもらって、説明されたんですか。

澁谷委員 全協で言ってから、それから班で集まって役割分担とか話し合ってもらったでしょう。

小川委員長 役割分担は各班で集まってやってくれという話でした。

澁谷委員 そうすると、中には記録係が良いですよという奴も居るわけだ。

田畑委員 会場係とかな。笹田委員、この前その班はファシリテーターは貴方と誰だったの。

笹田委員 布施さんです。

田畑委員 なるほど。

（ 以下、自由討議 ）

近重書記 すみません、取りまとめをしていただいて、今から発生する作業の確認を。

小川委員長 明日報告しないといけないから、今日プロフィール等の関係をどういう項目で皆さんに書いて貰うか。

近重書記 一応5個もらって、どれを使うかはまたの判断で。

小川委員長 5個ずつ書いて貰うということ。

笹田委員 ホームページにも載せるし、当日にどういう議員か分かった方がいいので、そうなりましたと言えば良い。

近重書記 顔写真は自分で提示していただく、で良いですか。

村武委員 提出しない人も居るのではないですか。

笹田委員 提出しない人は当選後に撮影した写真を使えば良いじゃないですか。写真を変えて欲しい人だけ持ってくる。

（ 以下、自由討議 ）

近重書記 では説明されて、明日散会した後にメールで皆さんに送ると。締切は13日くらいまでで良いですか。個人一般質問と併せて。

笹田委員 手書きじゃダメなの。

近重書記 手書きでもそんなに長くないですから。これでも1項目だいたい20文字くらいですもんね。最大20文字程度くらいで。手書きでも構いません。

小川委員長 ではそれを明日報告するというので。13日の14時くらいになるという見通しで、その時に広報広聴委員会をやるということが良いですか。

澁谷委員 その時に時間を取ってから決めようや。

小川委員長	進め方について。それまでにいくらか案があれば、まとめて持っておいた方が良くかなと思うんだけど。
近重書記	運営方法の詰めは正副委員長と、先ほどの3名の委員の方で。 (以下、自由討議)
小川委員長	ということで、近重さんそういうことで良いかな。
近重書記	はい。
小川委員長	ではそういうことで、今日の広報広聴を終わりたいと思います。

〔 18時 20分 閉議 〕

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 小川 稔宏